

和地ひとみレポート No.459

令和4年 第4回東大和市議会定例会が閉会 尾崎市長が今期終了での引退を表明

■新設条例4件はすべて原案可決

…11月30日から開かれていた令和4年第4回市議会定例会が12月15日に閉会しました。

…今定例会では、新設条例の議案が4件上程されており、全て、私が委員長を務めている総務委員会に審査が付託されていました。

【総務委員会に審査を付託された新設条例の議案】

◆個人情報保護に関する法律の改正に伴う新設条例

- ①東大和市個人情報保護法施行条例
- ②東大和市情報公開・個人情報保護審査会条例
- ③東大和市個人情報保護審議会条例

◆市が新たにスペシャリストを任期付き職員として採用するために制定する条例

④東大和市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例

…最終日の本会議では、総務委員会で行われた、上記の新設条例案の審査概要を委員長が報告。その後、議会全体で採決を行った結果、新設条例については、賛成多数で原案通り可決となりました。

…新設条例の④東大和市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例が可決されたことにより、市では来年度から、スペシャリストを登用する準備を開始するとのこと。総務委員会の審査の中での市側の答弁では「年度当初、第一生命保険株式会社から御提案をいただき、最終的にはブランドプロモーションの強化業務に寄与する職務経験や技術のある方を希望しており、可能であれば、任用は令和5年4月1日付けを目指している」とのことでした。

※新設条例の概要は、このレポートのNo.457（12月4日付）で紹介しています。

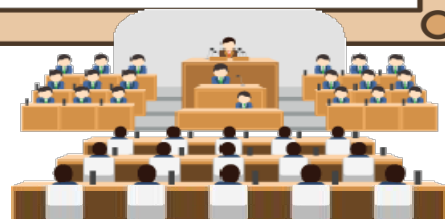
■令和4年度一般会計補正予算（第9号）

…今定例会では初日の本会議で一般会計補正予算（第8号：歳入歳出ともに2億9,006万3千円の増額）が上程され、全会一致で可決となっていました。最終日の本会議にも追加議案として一般会計補正予算（第9号）が上程されました。

令和4年度一般会計補正予算(第9号)

【補正が生じた主な理由】

- (1) コロナの影響が長引くとともに、物価高騰等に直面する都内の障害者支援施設等を支援することを目的とした都の補助金が出たため。
- (2) 狭山保育園の空調設備故障への対応が必要なため。



【補正予算額】

・歳入歳出ともに 724万6千円の増額

・歳入内訳(≒財源内訳)

- ➡都から……………600万円
- ➡繰入金……………124万6千円

…歳入の繰入金は、市の財政調整基金(≒普通預金)を取崩しとなります。都からの補助金は、全て「障害者支援施設等物価高騰対策支援金」。

これは、対象となる一事業あたり5万円で、複数の事業を実施しているところは、1法人あたり上限15万円(3つの事業を実施×5万円)が補助されます。また、グループホーム等については、1事業あたり10万円、上限は20万円。申請により補助金を支給する事業です。

…市の繰入金については、全額、市立狭山保育園の空調設備の交換と、特別な支援が必要な児童が落ち着けるための設備「カム・ハウス」の購入に充てます。市立狭山保育園は昭和49年に開設しており、施設や設備の老朽化が進行していることと、園周辺地域における保育需要の減少により、今通園している児童が卒園するのを機に閉園をすることとなっています。しかし、閉園までの間に、施設に不具合が出た場合は、適宜、対応をしているとのこと。今回の空調機の交換もその一環です。

■委員会提出議案と多くの議員提出議案

…今定例会では、多くの議員提出議案と厚生文教委員会から出された委員会提出議案1件が上程され審査されました。

…委員会提出議案は「令和5年度国民健康保険事業費納付金算定に関する意見書」を東京都と国に提出するというもの。国民健康保険は平成30年度から広域化され、財政運営の責任主体は都となりました。よって、毎年、東京都が計算した各自治体の納付金額が示され、東大和市も都に納付金を納めています。しかし、国民健康保険加入者は、高齢者や低所得者が多く、医療費が高いといった構造的な問題を抱えているため、保険料負担率が高く、医療費に見合う保険税収入の確保が困難な状況です。そのため、東大和市も法定外の一般会計繰入(赤字の補てん)を余儀なくされていますが、全国的にみると、この赤字補てんを解消していない自治体は減少。すなわち、保険税の額を値上げしています。

…広域化にともない、国は、赤字補てんを解消する取組みを行えば、6年間はインセンティブ(保険者努力として交付金を支給)措置を行うこととしているため、東大和市でも、毎年保険税の金額を見直し、6年間で赤字補てんの解消を目指しています。

(裏面に続く)

…しかし、国民健康保険の構造的問題により、東大和市の国民健康保険税は、かなり高額になっています。広域化により、都から示される納付金も年々増加。東大和市が採り得る工夫や努力も限界です。そこで、国民健康保険を所管する厚生文教委員会が、東京都への意見書提出を提案。全会一致で可決となりました。

【可決となった意見書】

令和5年度国民健康保険事業費納付金額算定に関する意見書

先般、国より令和5年度国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率の算定に用いる仮係数が通知され、東京都により、その仮係数に基づく納付金額等の算定結果がしめされました。

この算定結果によれば、東京全体における1人当たり納付金額が令和4年度と比較して 8.1%の大幅な上昇となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響や昨今の物価高騰が続く中、経済的な課題を抱える方の多い国民健康保険の被保険者に対し、この1人当たり納付金額の大幅な上昇分を保険税負担に転嫁することは避けるべきと考えます。

東京都は、国民健康保険事業の財政運営の責任主体として、急激な納付金額等の増嵩(ぞうそう:金額が増えること)とならないよう、算定の見直しや東京都独自の財政支援、国への財政支援の要望等を行うことを強く求めます。

…議員提出議案も以下のとおり 4 件提出されました。各議案の後ろの (○) は可決、(×) は否決です。

【上程された議員提出議案】

- ① 日本政府が核兵器禁止条約に速やかに参加するよう求める意見書(×)
- ② 学校給食の無償化を求める意見書(×)
- ③ 北朝鮮による飛翔体発射に抗議する決議(○)
- ④ 経済状況に関わらず安定した学校給食の取組の推進を求める意見書(○)

…『②学校給食の無償課を求める意見書』と『④経済状況に関わらず安定した学校給食の取組の推進を求める意見書』は、学校給食に関する意見書。②では「憲法第26条2項“義務教育は、これを無償とする”の理念にのっとり、義務教育の段階では、国の責任で給食を無償化するように」国に求める意見書で、共産党を中心に提出された議案です。

…もう一方の④は、昨今の物価高騰などの経済状況でも、国が新たに物価高騰による経済状況に応じた地方創生臨時交付金を自治体に交付したように、安定した学校給食となるような取組を引き続き進めることを国に求める内容です。

…審査の結果、②は否決となりましたが、④は賛成多数で可決となったため、東大和市議会として、意見書を国に提出することとなりました。

■尾崎市長が引退を表明

…今定例会での1番大きなトピックは、尾崎市長が今任期限りで引退を表明されたことです。2019年の選挙の際に推薦を出した自民党の所属議員の一般質問の答弁で引退の意思を示されました。このように、推薦政党の議員の一般質問の答弁で、首長が次期への考えを表明することは、議会での慣例。その答弁の概要は以下の通りです。

【尾崎市長が引退表明された答弁の内容】

少子高齢化や人口減少がさらに進展する中、私はこれまで一貫して将来にわたって市を持続させていくために必要な取組を実施してまいりました。

今任期におきましても、「日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまち」を目指し、子ども達や子育て世帯を応援する施策や、シニアの皆様が活躍できる施策の推進、そして、持続可能な行財政運営を目指した行政改革を進めてまいりました。

私は、来年の4月、3期目の任期が終わります。3期12年、区切りの良いところで退任をしたいと、そのように考えています。

私が目指してきた、持続可能なまちづくりにつきましては、令和3年度に策定しましたまちづくりの指針である総合計画「輝きプラン」の土台としており、市の将来都市像を「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」と定め、少子高齢化と人口減少が進展する中であっても、市民の皆様が生き生きと活動する活力あるまちづくり、持続可能なまちづくりを進めていくこととしています。

今後、市の財政状況はさらに厳しさを増すことが見込まれていますが、時代がどのように変化しても、今の子ども達、これから生まれてくる子ども達を含めた、将来市民の選択肢を制限することなく、現在市民の要望を最大限に満たしていくため、引き続き、持続可能なまちづくりに向けた取組の推進が必要であると考えております。

現在と将来に対する責任を持ち、決断の出来る方に東大和市の未来を託したいと考えております。

…尾崎市長が最初に就任した平成 23 年度末の基金残高は約 20 億 3,784 万円。令和 2 年度末残高は約 57 億円。今後、多くの公共施設の老朽化対策が必要とされる中、厳しかった財政状況を尾崎市政は大きく立て直しました。選挙には不利とされる家庭系廃棄物の有料化や事務事業を見直し、廃止、縮小する事業を決定する等、現実的かつ実直な行財政運営により積み上げた基金を、より良い形で活用することが出来るかが、この先の東大和市の将来を大きく左右すると思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102